

市長記者会見

（新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種、しまなみ海道通行量実態調査へのご協力をお願い、今治港開港 100 周年記念「みなとフェスティバル 100(イチマルマル)」の開催とブルーインパルスの飛行決定、宝くじスポーツフェア「ドリーム・サッカーin今治」について）

令和 4 年 4 月 13 日

報道関係者の皆さんには、本日もお集まりいただきましてありがとうございます。

いよいよ新年度も始まっておりますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

さて、本日は①新型コロナウイルスの感染状況及びワクチン接種について ②しまなみ海道通行実態調査へのご協力をお願いについて ③今治港開港 100 周年記念「みなとフェスティバル 100(イチマルマル)」の開催とブルーインパルスの飛行決定について ④宝くじスポーツフェア「ドリーム・サッカーin今治」について市民の皆さんにお知らせをさせていただきます。

《新型コロナウイルス感染状況及びワクチン接種について》

まず、1 点目、新型コロナウイルスの感染状況、そしてワクチン接種についてでございます。

今月にはいって県の警戒レベルが「感染拡大・特別警戒期間」から「感染警戒期」に引き下げられましたけれども、県内の新規感染者数は、昨日の発表で過去最多の 449 名となるなど再び増加傾向にございます。

今治市におきましても、昨日は 49 名と過去最多に迫る陽性確認を記録するなど、4 月に入ってからには 1 日あたり 30 名程度の高い水準で推移をしており、また、高齢者施設や職場内などにおきましても、クラスターが確認されるなど、大変厳しい状況にある、強い危機感を抱いているところでございます。

本市の 4 月に入ってから感染者を年代別に分析をしてみますと、50 歳代以下の方が 90% を占め、特に 30 歳代以下のいわゆる活動的な世代の感染確認が全体の約 60% を占めている状況にあります。今後は、こうした若い方々の感染をどうやって食い止めていくのかということが喫緊の課題であると認識してございます。

感染対策の柱ともいべきワクチン接種につきましては、すでに 3 回目の接種対象者のうち、接種を終えられた方の割合が 60 歳以上の方では 93%、40 歳代・50 歳代の方では 55% となっております。一方で、30 歳代以下の若い世代の皆さんには、まだ 2 回目接種以降 6 か月を経過していないため接種券をお送りできていない方が多数おられることもあいまって、現在の接種率は 20% 程度となっております。

なお、本日 4 月 13 日より、12 歳から 17 歳の方への 3 回目の接種券の発送がはじまります。接種券が届いた方から、接種が可能となりますので、接種を希望される方は出来るだけ早く接種

のご予約をお願いできればと思います。

ワクチン接種は、発症予防・重症化予防が期待されると伺っています。本市の感染状況からみましても、3回目の接種がまだ行われていない若い年代の方の感染者の割合が多い状況にあります。

今治市医師会や医療従事者の皆様のご協力のもと、個別の医療機関、さらには、ワールドプラザ集団接種特設会場におきまして、十分な接種体制が整っておりますので、接種を希望される皆さん、特に若い方々には早期のワクチン接種をお願いできればと思っております。

今後は、十分な新型コロナ対策を講じた上で、地域経済をしっかりと回して行く必要がございます。今月末からはゴールデンウィークを迎え、人の往来も増え、感染が拡大する懸念もございます。楽しい休暇を過ごすために、ご家族や身近な方々を感染から守るため、また、第7波の到来にしっかりと対応するため、これまでと同様に基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。

《しまなみ海道通行量調査 ご協力のお願について》

次に2点目「しまなみ海道通行量の実態調査」へのご協力をお願いでございます。

しまなみ海道の通行料金は、現在、ETC車限定で料金が割引されています。ただし、以前からお話をしておりますように、これは平成26年4月から当面10年間の特別な措置であり、令和6年度以降は料金改正が予定されていると伺っております。

島しょ部にお住まいの皆さまの生活道路でもある「しまなみ海

道の料金問題」は、大変大きな課題でございます。今後、国や本四高速に対して一層強力にこの問題を訴えていく必要がございます。

今年度の当初予算におきまして、従来の交通費支援に加えまして、新たに、島しょ部にお住いで高校生までのお子さんがおられる世帯に対して「子育て世帯に対する交通費助成制度」を創設しております。

また、この制度と連動する形で、島しょ部の方々が、どのような形でしまなみ海道を利用をされているのか、これをしっかりと把握をさせていただくことで、国や本四高速への要望の際の裏付け資料、エビデンスとするため、今回「しまなみ海道通行量の実態調査」を実施させていただきます。

島しょ部の皆さまが、しまなみ海道をどのようにご利用されているのか、例えば、曜日別であったり、時間帯別であったり、ご利用のトレンドをしっかりと把握・分析をするための実態調査でございます。すでに、島しょ部にお住まいの皆さまに対しまして、ETCカード番号の届出をお願いをさせていただいております。届出をいただきましたETCカード番号をもとに、本四高速のご協力をいただきながら、島しょ部の皆様の利用実態を数値化するために必要となりますので、ぜひご協力をお願いをいたします。個人情報でございますので、その扱いには十分に配慮をして作業を進めてまいります。

「みなとフェスティバル 100（イチマルマル）」の開催、ブルーインパルスの展示飛行決定について

次に、3点目でございます。「みなとフェスティバル100（イチマルマル）」の開催と、ブルーインパルスの展示飛行の決定についてでございます。

今治港は大正11年2月、四国で最初の開港場に指定され、今年、開港から100周年を迎えました。

今治市や港湾関連企業などで構成される「今治市港湾振興協会」におきまして、今治港100年の歴史を振り返り、海や港に対する関心と理解を深めると共に、今後の更なる発展に向けた契機とするため、10月15日、16日の両日、今治港内港地区におきまして「みなとフェスティバル100（イチマルマル）」を開催させていただきます。

当日は、船に親しんでいただくための体験航海に加え、マルシェ、ステージイベントの開催なども予定しております。加えて、先日、大変うれしいニュースが飛び込んでまいりました。フェスティバル初日の10月15日、航空自衛隊のブルーインパルスが今治の空を展示飛行していただけたということでございます。開港100周年に華を添えていただくばかりではなく、コロナ禍に懸命に立ち向かっている多くの市民の皆さんに勇気と希望を届けていただけるものと、今からワクワクしております。

開港100周年イベントには、ぜひとも、多くの方々にお越しをいただき、海や船舶に触れ、また、今治港に対する市民の皆さんの記憶を次世代に継承していただければと考えております。

「交通の拠点」であった今治港のこれまでの100年の歴史を踏まえ、これからの100年、今治港が「交流の拠点」として新たなスタートを切る記念イベントでございます。開催にあたっては、

新型コロナの感染状況に注視し、感染対策には万全を期して実施をしたいと思っておりますので、市民の皆さんには、楽しみにお待ちしております。

《「宝くじスポーツフェア ドリーム・サッカーin 今治」について》

4点目でございます。「宝くじスポーツフェア ドリーム・サッカーin 今治」についてでございます。

この事業は、皆さんもご存じのとおり自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業の一つでございます。毎年、全国各地で開催されております。

このたび、このスポーツフェアが、愛媛県、今治市、自治総合センターの共催によりまして、12月10日、11日の2日間、「ありがとうサービス・夢スタジアム」で開催されることが決定いたしました。

往年の名選手で構成されましたドリームチームと今治市選抜チームが試合を行う「ドリーム・ゲーム」、子どもたちや指導者が直接指導を受けることができる「少年少女サッカー教室」、「指導者クリニック」など盛りだくさんの内容で企画をされておりまして、子どもから大人まで楽しんでいただける内容となっております。

本イベントには、サッカー元日本代表選手22名の来場が予定されており、往年の名選手の華麗なプレーや技術を身近に感じていただけます。また、当日は、建設中の里山スタジアムも、外からではございますが、ほぼ全体の姿を見ていただけるのではない

かとも思っています。

加えてFC今治のJ2昇格といった吉報も届いているかもしれませんが、当日来場される選手や、入場整理券の配布方法などにつきましては、詳細が決まり次第お知らせをさせていただきます。

現在、FC今治も奮闘を続けております。これを後押しするような本イベントの開催決定を大変有難く存じておりますし、これを契機に、今治のそしてこの圏域のサッカー熱が更に高まることを期待しております。

令和4年度が始まって10日あまりが過ぎました。市民の皆さんにおかれましては、新年度の慌ただしい毎日がスタートしていることと存じます。

愛媛県では4月1日から感染レベルを「感染警戒期」に引き下げることになり、これに合わせ本市としましても、正しく恐れるということを基本に、徹底した感染対策を行いながら、社会経済活動との両立をお願いする方針とさせていただきました。

今年度は、ウィズコロナ時代の中、状況に応じた柔軟な対応が求められますが、市民の皆さんと共に知恵を出し合いながら、昨年度までは中止となってしまった様々なイベントにつきましても、ぜひ開催ができるように、どうしたらできるのかということに力点を置いて頑張っていきたいと思っております。

引き続き、市民の皆さんのご協力を心からお願いを申し上げて、市長メッセージとさせていただきます。